

# しゃっきー



「しゃっきー」は厚岸町社協のシンボルキャラクターです。

- はしゃいで遊んでいっぱい笑った  
2. 15/2. 16みんなのあそびば！
- 事業計画・収支予算
- 生活支援コーディネーターのウォーキングマップ
- これから動き出す新しい地域資源(支援やサービス)の紹介
- 厚岸町立特別養護老人ホーム心和園だより  
超低床ベッドを導入ほか
- 4月1日からの社協の人事異動をお知らせします ほか

三日間の来場者数は1,500人を超えた  
みんなのあそびば。

たくさん子ども達が体をいっぱい使って  
遊び、それを見守る家族の温かなまなざしが  
とても印象的でした。





はしゃいで遊んで、いっぱい笑った！

2.15/2.16 みんなのあそびば

無事終了！

## なぜイベントをやろうと 思ったのか

2月15日(土)、16日(日)の2日間、社会福祉センターにおいて「みんなのあそびば」を開催し、大盛況のうちに終了しました。

このイベントは、単に「イベントで町を盛り上げ町を活性化させたい」と言う気持ちだけで行ったものではありません。この町には、自分たちが理想とする我が子と触れ合い一緒に遊んだりする公園や施設がなく、子どもが小学校に上がる前に、「子ども達と触れ合える場所があったら」という、子育ての環境に息詰まりを感じたことがきっかけでした。

メンバーはそれに憂いることなく、子ども達に「広い世界を見せてあげたい」「いろいろな体験をさせて将来の可能性を広げてあげたい」という想いが開催への原動力となったようです。



家でテレビゲームや動画を見て笑うより、  
友達や兄弟と一緒に笑う方が楽しいね！

「今しかない子ども時代を、笑顔溢れる毎日にしてあげたい。」その願いが町内外の子育て世代に届き、当日は、誰もが想像できなほどの沢山の方が来場しました。

『遊ぶ子ども達を見て、お父さん、お母さんが  
うれしい気持ちになりますように』  
(marshe-akkeshi Instagram引用)

このイベントがきっかけとなり、厚岸町はもとより、どの地域でも子育てしやすい環境が増え、未来の子ども達が笑顔で暮らし続けられることを切に願います。



小さな子どもを持つ親にとっては、大きな子どもとの接触は不安。そこで小さな子どもが安心して遊べる時間「幼児タイム」を設けました。



少し大きな子たちも、  
一日中遊べました。  
とても楽しそうでした！





勢いよく回るサイバーボール。乗っていてもいなくても、一緒にいるだけでも楽しいのです。



出入口のない斜めの連続した床で、脚力、バランス感覚を高めるBank～バンク。子どもって目が回らないのかな！？

大きいすべり台は、ちょっと怖いけど、滑ってみたらすごく楽しいね。



(上) バルーン戦隊ゴムレンジャーの「バルーンプール」こんなにたくさんの風船に囲まれたことないね！？楽しすぎて何度も並んだ子が続出！  
(下) ボールプールで遊ぶ子どもたち



子ども用の自転車は、いろんな乗り方があっておもしろい！大人にはない適応能力に脱帽！！



## ボランティアの声

◇来場している人たちも楽しそうだったし、大成功だったと思います。イベントのコンセプトや配慮するところなど、当事者（お母さんたち）目線で、そこが一番いいところだなと感じています。こういう活動をもっと発信しやすく、実現できる町にと一町民として感じました。

◇同じ目的で集まったボランティアさんとの交流もたしかかったです。疲れたけど満足度の方がずっと大きく達成感がありました。また声をかけてほしいです。



# 事業計画 収支予算

新型コロナウイルス感染症による感染リスクを回避するため、理事会及び評議員会を開催することなく、書面同意による決議の省略の取扱いをしましたが、すべての理事・評議員から同意をいただき、令和2年度の事業計画と収支予算が承認されました。

## 事業方針

近年、個人や世帯が生活を営むうえで抱える生きづらさやリスクが複雑化し、社会的孤立や貧困などの社会課題化、ダブルケアや8050問題など複合的な課題の顕在化が見られ、また血縁、地縁、社縁といった共同体の機能が脆弱化しているなかで、地域で見守りを行うなど安心して暮らせる地域の実現に向けた取り組みが進められているが、担い手の確保に苦慮しているとの声も多く、地域社会の持続への懸念が生まれてきている。このような中において社会福祉協議会は、地域福祉推進を目的とした団体として「地域共生社会」の実現にその一翼を担うことが期待されており、個々のケースに対し積極的に出向いて働きかける早期の支援、本人・世帯を包括的に受け止め支える支援、本人を中心とし、本人の力を引き出す支援、信頼関係を基盤とした継続的な支援、地域とのつながりや関係性づくりを行う支援の推進を行っていきます。

また、介護保険事業においては、訪問介護事業や居宅介護支援事業の在宅サービス事業の実施に加えて、令和元年度から新たな指定管理期間で運営する特別養護老人ホーム心和園や在宅老人デイサービスセンターの施設運営を行い、介護人材の確保やさらなるサービスの質の向上など課題に向き合いながら、利

用者本位を第一に、誰もがいつまでも厚岸町で暮らしていけるよう環境整備に努めていきます。

## 事業実施計画

### I 法人在宅事業

#### 法人本部事業

地域福祉を推進する組織として、適切な会務の運営や財務管理、積極的な情報公開などに努め、健全な法人運営、事業経営を進めます。また、関係福祉団体との連携を密にし、地域住民の積極的な参加を呼びかけ、住民主体による様々な福祉事業の推進を図り、地域の福祉課題の研究・検討を行います。

#### 受託事業

行政が行う公的制度に基づく福祉サービスを積極的に受託実施します。

- 福祉バス運行管理事業
- 一般介護予防事業
- 福祉相談事業
- 成年後見制度推進事業
- 生活支援体制整備事業

#### 訪問介護サービス事業

介護保険法、障害者総合支援法及び介護予防・日常生活支援総合事業に対応した経営とサー

ビスの質の向上に積極的に取り組みます。

#### 居宅介護支援事業

常に利用者の立場で質の高いケアマネジメントを提供できるようサービスの向上に努めます。

### II 施設通所介護事業

#### 施設介護サービス事業

指定管理者として「特別養護老人ホーム心和園」の適切な運営管理、事業経営に努めるとともに、入所者の意思及び人格を尊重しながら、家族、地域及びボランティア等との結び付きを重視した地域密着型の運営を図ります。

#### 通所介護サービス事業

指定管理者として「在宅老人デイサービスセンター」の適切な運営管理、事業経営に努めるとともに、必要な日常生活上の介護サービスを提供し、新たな事業展開を進めます。

### III 社会福祉センター事業

地域福祉推進の拠点施設として、適切な施設・物品管理を行い、施設の有効活用と利用促進に努めます。

## 重点推進項目

- 1 地域に信頼される組織体制の確立
- 2 総合相談窓口の充実とネットワークの確立
- 3 住民を主体とした生活支援サービスの促進
- 4 生活を支えるための介護保険サービスの充実
- 5 新たな福祉計画策定に向けたニーズ把握



## 予算の概要

# 介護保険事業による増収を財源に働きやすい環境を整備し、より良いサービス向上に努めます

事業活動による収支では収入総額が5億5,692万5千円(前年比8.4%増)。主な内訳では、前年に比べて、「経常経費補助金収入」が対象職員の増により786万6千円の増、「受託金収入」が市民後見人養成事業の未実施により135万8千円の減、「介護保険事業収入」の増収見込みにより3,205万円の増です。支出総額が5億4,367万5千円(前年比11.3%増)。主な内訳では、前年に比べて、人員増員や職員処遇改善により「人件費」で4,605万1千円の増、「事業費支出」で49万9千円の減、社会福祉センターの屋上外壁修繕や心和園宿直員配置により「事務費支出」で968万6千円の増です。収支差額は、前年から1,185万9千円減の1,325万円を予定しています。

施設整備等による収支では、車両購入等があり「固定資産取得支出」が221万2千円の増で、収支差額がマイナス290万4千円になります。

その他の活動による収支では、前年に比べて、車両購入経費にあてる積立金取崩があり「積立資産取崩収入」162万5千円の増で、収支差額がマイナス442万7千円になります。

施設整備等及びその他の活動による収支のマイナス計上を「事業活動による収支」から補てんし、当期資金収支差額は、前年に比べて、807万7千円減の591万9千円を見込んでいます。

社協の予算は、社会福祉法人の会計ルールである社会福祉法人会計基準に基づき、下表の資金収支計算書(表)で作成しています。計算書は、活動ごとに3分割され、日々の業務での収支を「事業活動による収支」、高額な施設整備や備品購入を「施設整備等による収支」、長期的な資金の運用を「その他の活動による収支」の計上しています。

令和2年度 資金収支予算書(全体総括表)

[単位:千円]

勘定科目		本年度予算額 (A)	前年予算(参考) (B)	比較 (A)-(B)
事業活動による収支	収入の部			
	会費収入	2,346	2,301	45
	寄附金収入	146	146	0
	経常経費補助金収入	32,567	24,701	7,866
	助成金収入	980	400	580
	共同募金配分金収入	833	951	△ 118
	受託金収入	22,748	21,390	1,358
	貸付事業収入	500	500	0
	事業収入	6,954	6,706	248
	介護保険事業収入	479,966	447,916	32,050
	障害福祉サービス等事業収入	4,459	3,735	724
	その他の事業収入	2,712	2,160	552
	借入金利息補助金収入	433	529	△ 96
	受取利息配当金収入	13	13	0
	雑収入	2,268	2,244	24
	事業活動収入計(1)	556,925	513,692	43,233
支出の部				
人件費支出	392,905	346,854	46,051	
事業費支出	84,107	84,606	△ 499	
事務費支出	65,410	55,724	9,686	
貸付事業支出	500	500	0	
助成金支出	320	370	△ 50	
支払利息支出	433	529	△ 96	
事業活動支出計(2)	543,675	488,583	55,092	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	13,250	25,109	△ 11,859	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	11,096	6,250	4,846
	施設整備等収入計(4)	11,096	6,250	4,846
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	6,250	6,250	0
	固定資産取得支出	2,872	660	2,212
ファイナンス・リース債務の返済支出	4,878	4,720	158	
施設整備等支出計(5)	14,000	11,630	2,370	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 2,904	△ 5,380	2,476	
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	2,430	805	1,625
	その他の活動収入計(7)	2,430	805	1,625
	支出			
	積立資産支出	100	100	0
	その他の活動による支出	6,757	6,438	319
その他の活動支出計(8)	6,857	6,538	319	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 4,427	△ 5,733	1,306	
当期資金収支差額(10)=(3)+(6)+(9)	5,919	13,996	△ 8,077	
前期末支払資金残高(11)	106,268	44,000	62,268	
当期末支払資金残高(12)=(10)+(11)	112,187	57,996	54,191	



# 生活支援コーディネーターの ウォーキングマップ Vol.1 (11)

昨年6月から開催した『コミュニティカフェ』は、ボランティアさん協力のもと、無事に1年を終えることができました。ありがとうございます。

今回は、地域の皆さんに少しずつ受け入れられはじめた、カフェの1日を紹介します。

## カフェの1日を紹介

### ■10:30~

待ち合わせより早く到着したボランティアさんが、集会所で待機しています。急いで準備に取り掛かります。

### ■10:50~

会場設営をしていると、第一参加者が来場！！早めに来て大丈夫です。いらっしゃいませ！

### ■11:00~

開始時間には10名を超える参加が！！ありがとうございます。



カフェでは、昼時間を挟むこともあり、毎回パンの移動販売があります。おいしいコーヒーとパンで、いつも会場は和やかな雰囲気。

そして、コーヒーを飲みながら楽しめるようにと、ボランティアさんが持参した手芸制作には、たくさんの方が参加し大盛況でした。

### ■14:00~

おかげで本日は30名以上の参加がありました。全ての参加者を見送り片付けを手早く行い解散しました。みなさん大変お疲れさまでした。

3月のカフェは、残念ながら中止となりましたが、4月以降も開催する予定です。

ボランティアの皆さんをはじめ、地域の皆さんの参加をお待ちしております！また、こんな企画をしてほしいなどあれば、ぜひご意見ください。



## コーディネーターのひとりごと

コミュニティカフェを開催して1年が経ちました。色々なご意見もありますが、参加している方は皆楽しそうです。偶然隣に座った方とお茶を飲みながら話をして、「楽しかった！」と帰るうしろ姿を見ていると、誰もがいつでも参加できる居場所が、町内にもっとあったらいいなと思います。今年度も、コミュニティカフェ開催の予定ですが、今後の状況を見ながら改めてお知らせします。また、個人的にやってみたい人がいましたらいつでも相談ください。話だけでも大歓迎です！お待ちしております。

◇◇ちょっとした困りごとの「相談」「お茶会」のお誘いはこちらまで◇◇

厚岸町社会福祉協議会 ☎0153-52-7752

生活支援コーディネーター 柏木

# これから動き出す 新しい地域資源（支援やサービス）の紹介

## ◇会員制の生活支援サービス(有償ボランティア)の創設～

✓ ちょっとした困りごとを、住民同士が支えあう仕組み  
普段の生活の中で、こんなことはありませんか？

- 簡単な作業で、業者を呼ぶまでではないこと。
- お友達には頼みにくい。または頼める人がいない。
- でも、自分ではできないようなこと。

お願いする側も、される側も気持ちよく支えあう仕組みを作りたい。  
まずは、地域に出向き皆さんにお知らせしていきます。



## ◇地域の声を形に！みんなのしゃべり場を開設

✓ 自分はもちろん、未来を背負う子ども達が  
安心して住み続けられる町にするための『しゃべり場』づくり  
会議というより、ちょっとしたカフェ気分で見聞交換会！

- 固定観念にとらわれない発想を楽しむ
- 意見を否定したり非難しない

これがルール。明るい未来を想像しながら「これ、やってみよう」  
という声になるよう、お茶を飲みながら話しませんか？  
開催時間は、仕事や学校終了後の時間で予定しています。



～これから皆さんにお知らせしていきますので、しばらくお待ちください～  
《問合せ先》厚岸町社会福祉協議会 総務地域課 ☎0153-52-7752

## 地域の支えあい活動はチャーハンづくりの要領で！ ～地域支えあい研修会が行われました～

2月11日、本の森厚岸情報館において、地域支えあい研修会が開催され、92名の方が地域づくりについて学びました。

北星学園大学の岡田教授は、地域づくりは、冷蔵庫にあるものでチャーハンを作ることに似ている。違う具材でおいしくできるチャーハンの様に、その時々でのメンバーでの味を楽しみながら、繋がりづくりや交流をしてみると、楽しく活動できるヒントがあるのではと話しました。





## 厚岸町立特別養護老人ホーム心和園だより

### 超低床ベットを導入！

2月6日に超低床型ベッドを6台導入しました。これは、令和元年度防衛省特定防衛施設周辺整備調整交付金を財源とし厚岸町より導入したものです。

超低床ベッドとは、ベッドの高さを床から15cmまで下げることができるため、布団を敷いて寝ている状態とほぼ同じ感覚で使用できます。さらに、ベッドからの転落事故による重症化を防いだり、臥床時の床ずれ予防機能、高さ調節などを行うギャジリモコンの抜き差しが簡易になるなど、便利な機能がたくさんあります。

導入してからまだ2か月ですが、転落防止の離床センサーを使用していた方がセンサー不要になったり、入居前に布団で寝ていた方に使用した際には、

「これだと今までよりも自然な形で休めますよ。」と感想をいただき、入居者にも大変喜ばれています。

また、職員からは「転落事故の予防や、居室の環境整備など、

入居者がより安心・安全に過ごすための選択肢が増えてよかったです。」と意見がありました。

これからも入居者のため、創意工夫しながら有効活用させていただきます。



【上】入荷時のベッド写真

### 介護職員の制服を新調！

3月より、介護職員の制服を新調しました。

入居者からは、「やっぱり制服があると、職員さんだとすぐわかるからいいね。」とお褒めの言葉をいただきました。

現在心和園では、新型コロナウイルスの感染予防のため『施設内での面会禁止』の対応をしています。面会が解禁となりご来園された際には、是非ご意見を聞かせていただけると嬉しく思います。



【左】尾張介護員

【右】遠山介護員



## 4月1日からの 社協の人事異動を お知らせします



居宅介護支援事業所  
所長 山城美奈子

4月1日より、居宅介護支援事業所所長となりました山城美奈子です。

今までよりも、きめ細やかで手厚い支援が行えるように、事業所のケアマネジャーを1名増員し5名体制となりました。よ

り一層、厚岸町の福祉を支えるべく、事業所がワンチームとなりご利用者さまに寄り添っていききたいと思います。

今後とも、よろしく願いいたします。

デイサービスから移動になった小笠原晶子です。日々の暮らしから少しでも楽しく、笑顔になれる様にお手伝いが出来たらと、デイサービスでは働かせていただきました。

今度は、在宅生活を支えるお

仕事をヘルパーの皆さんと力を合わせていけたらと考えています。

笑顔で明るく、穏やかな日々を後押しできるよう努めていきたいと思います。



訪問介護事業所  
所長 小笠原晶子



在宅老人  
デイサービスセンター  
主幹 五十嵐愉美

長く訪問介護事業所でホームヘルパーとしての活動をさせていただきましたが、この度、デイサービスへ移動となりました。

今まで多くの皆様と出会うことができ、学ばせていただきました沢山のことへの感謝と、こ

れから出会う未知へのドキドキを持ちつつ、今後も皆様と楽しく刻が過ぎますようにと願っております。

よろしく願いいたします。

困りごとを相談しませんか？

## 社協『福祉相談所』のご案内

社協では、地域のみなさんが日常生活で困っていることや、福祉サービスに関係することなどの福祉相談所を開設しています。相談日以外でもお話を伺いますので、まずは気軽にご相談ください。



【問い合わせ先】厚岸町社会福祉協議会 総務地域課 ☎0153-52-7752

### 【地区相談所】

各地区の民生委員が、身近な困りごとに相談に対応します。

■場所：民生委員の自宅

■日程：月曜日～金曜日

### 【中央福祉相談所】

民生委員と面談し、困りごとの解決方法を話し合います。

■場所：社会福祉センター

■日時：奇数月（年6回）の第4火曜日  
13時30分～15時00分

### 【無料法律相談所】

弁護士が、金銭・相続などの相談に応じます。（予約制）

■場所：社会福祉センター

■日時：4月14日13時30分  
9月15日17時00分  
2月9日13時30分



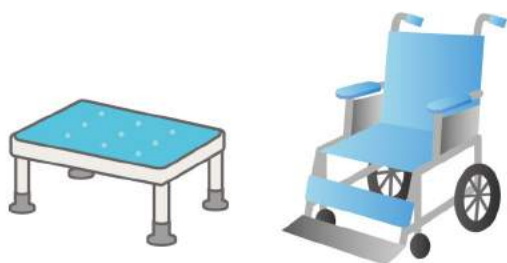
## 社協の 掲示板

社協情報を  
お知らせする掲示板

### 福祉用具などを貸し出します

社協では、帰郷や旅行などで一時的に車いす等が必要となった時、無料で貸し出しを行っています。まずは、気軽にご相談ください。

- 貸出品 車イス、入浴用介護用品など
- 連絡先 厚岸町社会福祉協議会  
☎0153-52-7752



## 訪問介護員を 募集します

一緒に働く仲間を募集します

勤務地/社会福祉センター  
募集条件/介護初任者研修  
(旧ヘルパー2級過程)  
修了以上

特記事項/勤務時間は相談に  
応じます。

その他/給与、勤務時間等の詳細に  
ついては面談うえご説明し  
ます。

応募方法/履歴書を、厚岸町社会福祉  
協議会総務地域課まで提出  
してください。(郵送可)

送付先/厚岸町社会福祉協議会  
厚岸町梅香2丁目1番地

☎0153-52-7752



### 訪問入浴車が寄贈されました ～デイサービスセンター～

このたび、公益社団法人24時間テレビチャリティ委員会より「訪問入浴車」が寄贈されました。

これからは「医療から介護」「施設から在宅」へと、介護は在宅生活へとシフトしつつあります。地域の方が住み慣れた町や家で安心して暮らし続けるため、その方々の生活の質を高めながら自立した生活が送れるよう、専門職と地域が協働できる支援体制を整えていきます。

訪問入浴についての問合せは、デイサービスセンター☎0153-52-3901まで。



寄贈された訪問入浴車

#### 厚岸町社協広報『しゃっきー』

2020.4/No.174【編集】広報委員会(以下、委員)  
米内山紘輝、中野絹恵、杉本裕樹、柏木由起子、  
山城美奈子、河合宏美、本庄祐長、小笠原晶子

社会福祉法人厚岸町社会福祉協議会  
〒088-1115 厚岸郡厚岸町梅香2丁目1番地  
厚岸町社会福祉センター内  
TEL 0153-52-7752 FAX 0153-52-6044  
mail info@akkeshishakyo.or.jp/